

牧師所感： 子ども達を祝福しよう — “子どもの日”にちなんで—

5月5日（2024）、今日は私共キリスト教会においては主日であって、主なる神様に礼拝をお捧げする日である。と同時に世界の国々では、5月5日を祝日と定めて、子どもの成長を祝う日である。

さて“子どもの日”は、各国が国を挙げてお祝いする祝日である。ところで世界の国々は日本を始め、我が祖国韓国なり、この日を盛大にお祝いする。

ところが全世界においてめでたいこの日が、最も悲惨な“子どもの日”となったことを悲しむ。理由は、最も祝福されるこの日が、戦争によって子どもの命が失われているからである。

ロシアとウクライナの戦争が、イスラエルとハマス（アラブ）の戦争によって、沢山の罪のない子ども達の命が失われている。ところで私共は非戦の国日本に住んでいることで、戦争によって殺されていく子ども達の死を見ることはない。だが胸が潰れるような痛みを経験することはなくても、心を痛めて祈る毎日である。

さて私共は2015年9月25日に国連総会で、持続可能な開発目標（SDGs「Sustainable Development」）が採択されたのを知っている。17項目の案件の中で、子どもの成長を守る為の案が3項目に渡って掲載されている。

ところで私共は毎日のように、テレビや新聞で、アフリカ諸国の子ども達の窮乏を見ている。

案件①は貧困をなくそう（子ども達の悲惨）

②は飢餓をゼロに（特に子ども達の悲惨）

⑥は安全な水とトイレを世界中に

以上子どもに関する項目をここに掲載した。さて当八街グレイス教会においては、久しく（20年以上）ユニセフ協会（日本）に、国連児童基金を送っている。

ところで戦争によって子どもの尊厳が薄れたのか、世界各国で子どもに対する虐待が横行している。

聖書には主イエス・キリストが子ども達を大事に取り扱うことを教えておられる。

マルコ10：13～16

イエスに触れていただくために、人々が子供たちを連れて来た。弟子たちはこの人々を叱った。しかし、イエスはこれを見て憤り、弟子たちに言われた。「子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。はつきり言っておく。子供のように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。」そして、子供たちを抱き上げ、手を置いて祝福された。

子どもたちに幸いあれ！！